

ELFINDOLL 抱っこひも

D' ダッコール / **D'** ダッコール プラス
D'accord / *D'accord plus*
(インサートパッド・クッションつき)

取扱説明書

保証書

このたびはお買いただき、ありがとうございます。

- ご使用前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本書は、いつでもご覧になれる場所に大切に保管してください。
- 本製品を他の方にお譲りになるときには、必ず本書もあわせてお渡してください。
- 経年劣化があるので、不測の事態を避ける為、お買上日より3年を超えたご使用はお控えください。

安全にお使いいただくために

お子様の対象月齢

だっこ：首すわり(4ヶ月)から24ヶ月(体重13kg)まで

インサートパッドが装着されている場合には、**生後1ヶ月**から使用可能。ただし、早産児、呼吸器疾患児を除く。(全てお子様と装着者が向き合う縦対面だっこのみ)

おんぶ：首すわり(4ヶ月)から36ヶ月(体重15kg)まで

使用できる装着者の
ウエストサイズ

着衣後約135cmまで

⚠警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容です。

落下の危険性：お子様が開口部から落下する恐れがあります。

- この取扱説明書をよく読み、正しく調節し、全固定箇所を確実に締めて使用してください。
- 身体を傾ける際には、お子様を手で支えて落下しないように注意してください。
- 大きく前屈みをせず、ものを拾うときは、お子様の頭が下向きにならないように、ひざを曲げて腰を落としてください。
- ご使用前には製品全体を点検し、製品に切れ・破れ・ヒビ等の破損がある場合は使用しないでください。

窒息の危険性：特に生後4ヶ月未満のお子様は、装着者の身体に顔が強く押し当てられた場合、本製品内で窒息する可能性があります。

- お子様を装着者の身体に強く縛り付けず、お子様の頭部を動かせる余裕があるように装着してください。
- お子様の気道をふさぐことがない等、常に状態に注意して使用してください。
- インサートパッド付製品の場合でも、早産児及び呼吸器疾患等のある乳幼児は、生後1ヶ月でも使用をお控えください。

⚠注意 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

着脱時の注意：

- 着脱は安全な場所で可能な限り低い姿勢で注意して行ってください。特に慣れないうちや、おんぶは介添えてもらってください。
- ご使用前に、バックル等の固定部が確実にとめられていること、特にサポートバックルを必ず確認してください。1箇所でも破損している場合は使用しないでください。装着後もゆるみがないかを確認してください。
- だっこで使用する場合、お子様の頭で前方、特に足下の視界が妨げられないように装着し、歩行時もお注意ください。
- だっこは全てお子様と装着者が向き合う縦対面だっこのみです。

ご使用に際しての注意：

- バックルの開口部にお子様が手指を入れないように、使用しないときでもバックルをはめ込んでおいてください。
- 授乳後30分間は使用しないでください。お子様のおなかを圧迫し、消化吸収をさまたげるおそれがあります。
- 連続2時間以上の使用はしないでください。お子様の体調や装着状況を常に確認してください。
- 体調がすぐれない時や、身体に痛みを感じたら、ご使用をお控えください。
- 飛行機、車、バイク、自転車では使用しないでください。
- 料理や掃除等の家事でのご使用に際しては、火気によるやけど、屈むことによる転落、ホコリ、飛散物、衝突等に十分ご注意ください。
- 製品を火気の近く、屋外、直射日光のあたる場所に放置・保管しないでください。
- 汗や水で湿った状態で摩擦を受けると他に色が移染する場合があります。
- 製品の改造はしないでください。
- 小物入れ、ポケット等には硬いもの、とがったものを入れないでください。
- 目的外の使用はしないでください。

安心のSGマーク付(2015年3月改訂版に対応)

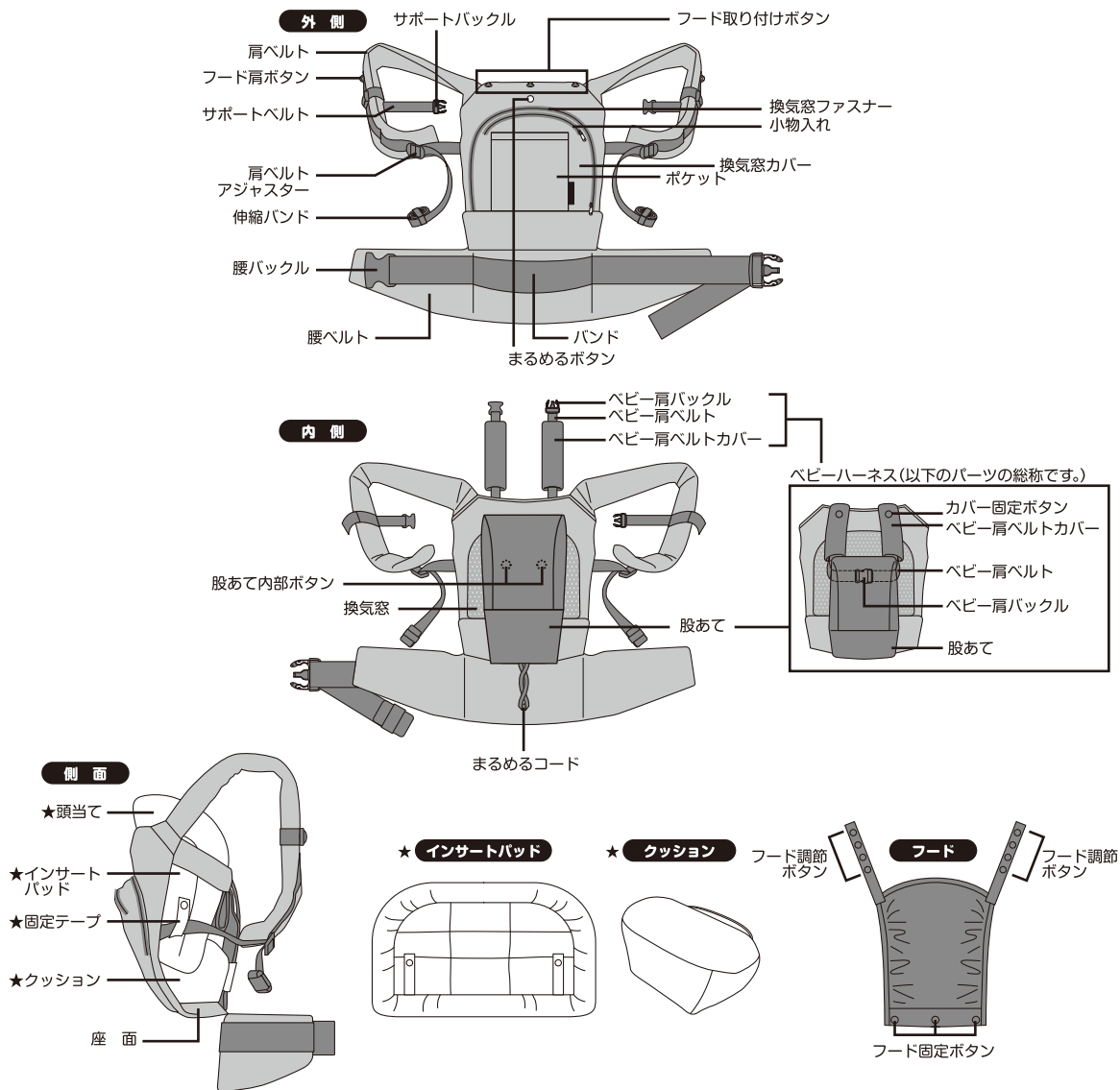
- SGマーク付き製品は安全性が高く、安心してお使いいただけます。
- SGマーク制度は、SGマーク付き製品の欠陥により人身事故が発生した場合に、製品安全協会が賠償措置を行う制度です。
- 抱っこひもの場合は、お買上日から3年間有効です。
- 製品そのものが故障した場合に補償するものではなく、他の物に生じた損害(物的損害)を賠償するものではありません。製品の欠陥によって傷害等の身体的な損害(人的損害)について賠償する制度です。
- 詳細は、一般財団法人製品安全協会のホームページ <http://www.sg-mark.org/> を参照ください。



箱を開けたら

- 以下の「各部名称」で説明されているものが入っているか、破損がないかを確認してください。
- 欠品や破損の場合は、お買上の販売店またはお客様窓口にご連絡ください。
- 「インサートパッド」「クッション」はD'accord plus(ダッコールプラス)のみに装着・同梱されています。

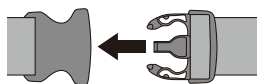
各部名称と注意事項



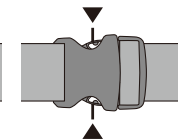
★はD'accord plus(ダッコールプラス)のみに装着・同梱されています。

バックルのとめ方・外し方

取り付け時



取り外す時



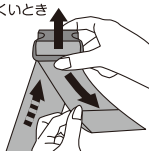
「カチッ」と音がしてから引っ張って確認してください。

▼印の箇所を押して、抜いてください。

ベルト調節の方法

短くする時

引きにくいとき
立てる



ベルトが引きにくいときはバックルやアジャスターを立ててください。

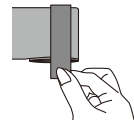
長くする時

必ず立てる



バックルやアジャスターを立ててベルトを引いてください。

余ったベルトの処理



ベルトの端の伸縮バンドでまとめてください。

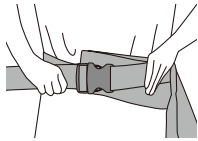
全てに共通の準備



- 大切なお子様を落下事故から守ります。ご使用になる前にベビーベッドやソファ等での安全な場所で、あらかじめ調節しておいてください。
- 全ての調節部分を正しく調節し、正しく装着してください。

腰ベルトの調節

腰ベルトの長さを装着者に合わせて調節し、余ったベルトは伸縮バンドでまとめておいてください。



肩ベルトの調節

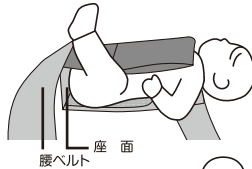
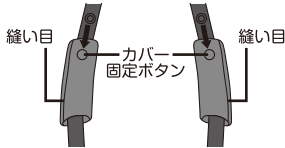
肩ベルトの長さは、左右の端をつかめるくらいに伸ばしておいてください。



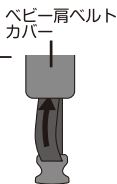
ヘビーハーネスの調節

- ①ベビー肩ベルトカバーはカバー固定ボタンでベビー肩ベルトに固定してください。固定ボタンを外して洗うことができます。戻すときには、ボタンが上側、カバーの縫目がお子様の首に触れないように外側にしてください。
- ②ベビー肩ベルトの長さを調節します。その際、実際にお子様をのせ、座面がお子様のお尻に当たるように腰ベルトを立てると、ベルトの長さ調節やバックル操作が楽になります。
- ③お子様との隙間が大人のこぶし1個程度になるようにベビー肩ベルトの長さを調節してください。

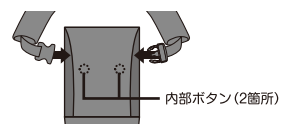
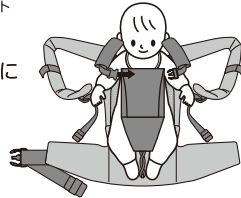
※2ページ「ベルト調節の方法」参照。



- ④長さを調節したあとのベビー肩ベルトはベビー肩ベルトカバーの中に押し込んでください。



- ⑤ベビー肩バックルが筒部の中にあるようにとめてください。



※股あて内部ボタン(2箇所)を外してから筒部の中でバックルをとめてください。

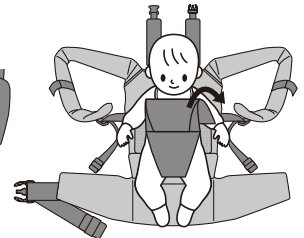
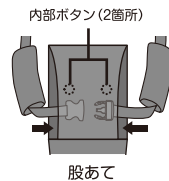


注意
バックルをとめる際、左右のバックルに股あての布等を挟まないようご注意ください。

股あての調節

- お子様が小さくてあごが股あてに触れる場合には、ヘビー肩バックルを筒部の下部でとめてください。バックルとベルトが股あて内部ボタンよりも下方にあることを確認してから股あて内部ボタンをとめ、股あての上部をお子様側に折り返してください。お子様のお尻に下記のクッションやタオル等を敷いて調節できれば、それでも結構です。

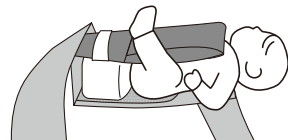
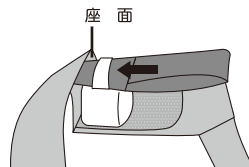
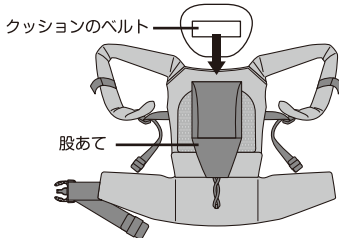
※インサートパッドを使用するときは、インサートパッドの上から同様に調節してください。



クッションの使い方

- ※D'accord plus(ダッコールプラス)のみに同梱されています。
- ※座高が低く、頭が抱っこひも上部から出ない、インサートパッドの上部が側頭部にかからない場合に使用してください。

- ①クッションのベルトに股あてを差し込みます。
- ②座面の上にセットします。
- ③お子様のお尻の位置を確認します。



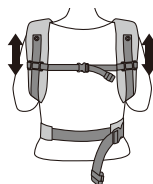
「だっこ」に共通の準備



- 大切なお子様を落下事故から守ります。ご使用になる前にベビーベッドやソファ等での安全な場所で、あらかじめ調節しておいてください。
- 全ての調節部分を正しく調節し、正しく装着してください。

※「全てに共通の準備」をご確認ください。

サポートベルトの調節



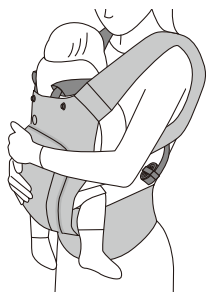
- ①サポートベルトの上下位置を、ご自分の背中でとめられる高さに調節してください。下げすぎるとサポートバックルがとめにくく、上げすぎるとぐに負荷がかかります。



- ②サポートベルトの長さを調節し、余ったベルトは伸縮バンドでまとめておいてください。

生後1ヶ月～首すわり(4ヶ月)までの「だっこ」(D'accord plus(ダッコールプラス)のみ)

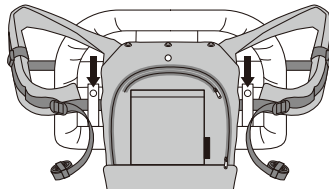
注意 だっこするときには安全な場所を確保し、行ってください。



準備

- ① 「だっこ」に共通の準備をご確認ください。
- ② インサートパッドが装着されていない場合は、図のように左右の固定テープで肩ベルトをまたいで
- ③ 内側を上にして、ベッド等安全な場所に広げ、全てのバックルを外しておいてボタンをとめ、取り付けてください。ください。

※慣れないうちは他の方に介添えをお願いしてください。

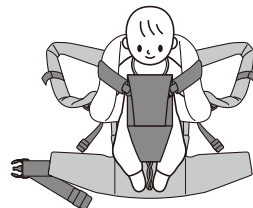
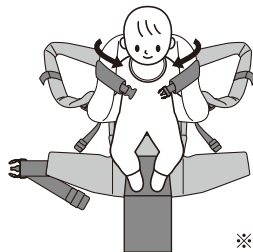
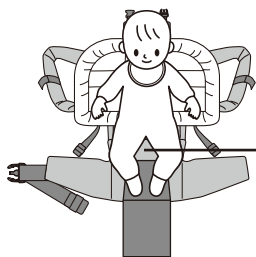


装着

- ① お子様をインサートパッドの上に座らせてください。インサートパッドの頭当て(チューブ形状部分)が側頭部に当たる高さにします。
- ② お子様のお尻がメッシュ下部よりも上にある場合は、クッションやタオルを巻いたものを座面に敷いて調節してください。座面がお子様のお尻に当たるように腰ベルトを立てると、わかりやすくなります。

- ③ ベビー肩ベルトはインサートパッドの外側を回してください。

- ④ インサートパッドの上からベビーハーネスを装着してください。



※3ページ「ベビーハーネスの調節」「股あての調節」を参照。

注意 バックルをとめる際、左右のバックルに股あての布等を挟まないようご注意ください。

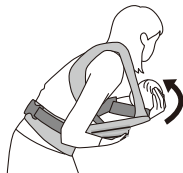
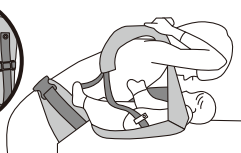
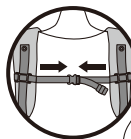
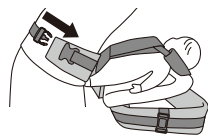
注意

- ⑤ 一度肩ベルトの付け根の外側に両手を添えて、持ち上げてから手を添えたまま座らせて、左記のチェックをしてください。

- チェック1: 頭が動かせて、かつ、ぐらつかない
- チェック2: 気道確保*1 股あてとの間隔がある
- チェック3: 胸にこぶし1個分の余裕あり
- チェック4: バックルが股あての筒部に通され確実にとめられている
- チェック5: お子様のお尻がクッションや巻いたタオルからズレしていない



- ⑥ お子様を寝かせ、腰ベルトを装着し、腰バックルを確実にとめてください。
- ⑦ 肩ベルトに腕を通して、首の後ろでサポートバックルを確実にとめてください。
- ⑧ 抱っこひもの外側から、お子様の頭と背中を両手で支えて上体を起こしてください。
- ⑨ 肩ベルトを左右同じ長さに調節します。余ったベルトは伸縮バンドでまとめてください。



警告

- ⑩ 鏡を使ったり、介添えの方をお願いして、下記のチェックをしてください。

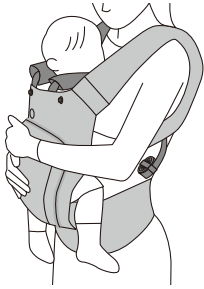
- チェック1: お子様の頭で、装着者の視界が妨げられない
- チェック2: 気道確保*1の再確認
- チェック3: お子様の顔が装着者の胸に密着していない
- チェック4: 頭が左右に動かせる
- チェック5: お子様の手足が挟まれている
- チェック6: 無理な体勢になっていない



※1 気道確保: お子様の口や鼻がふさがれていない、のどを押し付けていない等、呼吸をしやすくすることです。

※お子様をおへそより上にすると、しっかりと楽にだっこできます。ご自身の最適位置を探してください。

首すわり(4ヶ月)～24ヶ月(体重13kg)までの「だっこ」



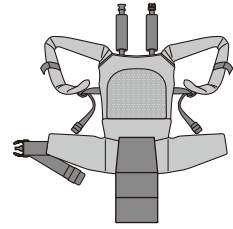
注意 だっこするときには安全な場所を確保し、行ってください。

準備

①「だっこ」に共通の準備をご確認ください。

※慣れないうちは他の方に介添えをお願いしてください。

②インサートパッドが装着されている場合は、外してください。内側を上にしてベッド等の安全な場所に広げ、全てのバックルを外しておいてください。



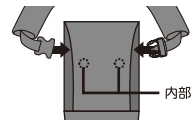
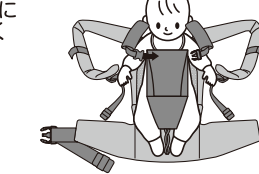
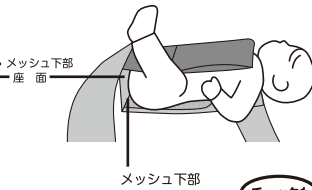
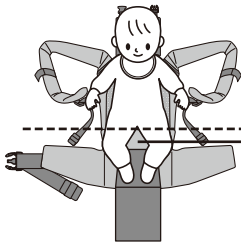
装着

①お子様の股をメッシュの下部に合わせて乗せてください。

②お子様の顔が抱っこひもの中に隠れてしまう場合は、クッションやタオルを巻いた物を座面に敷いて調節ください。座面がお子様のお尻に当たるように腰ベルトを立てると、わかりやすくなります。

③ベビーハーネスを装着してください。

※3ページ「ベビーハーネスの調節」「股あての調節」を参照。



※ベビー肩バックルが筒部の中にあるようにとめてください。

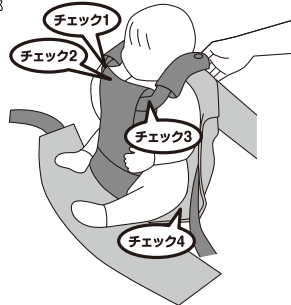
※股あて内部ボタン(2箇所)を外してから筒部の中でバックルをとめてください。

注意 バックルをとめる際、左右のバックルに股あての布等を挟まないようご注意ください。

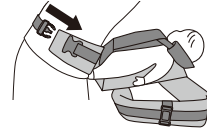
注意

④一度手を添えて座らせて、下記のチェックをしてください。

- チェック1: 気道確保*1 股あてとの間隔がある
- チェック2: 胸にこぶし1個分の余裕あり
- チェック3: バックルが股あての筒部に通され 確実にとめられている
- チェック4: お子様のお尻がクッションや巻いたタオルからズレしていない



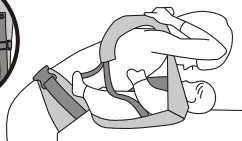
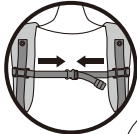
⑤お子様を寝かせ、腰ベルトを装着し、腰バックルを確実にとめてください。



⑥肩ベルトに腕を通して、首の後ろでサポートバックルを確実にとめてください。

⑦抱っこひもの外側から、お子様の頭と背中を両手で支えて上体を起こしてください。

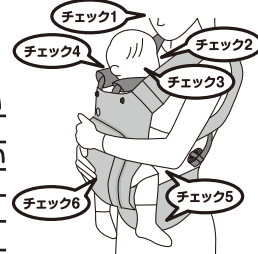
⑧肩ベルトを左右同じ長さに調節します。余ったベルトは伸縮バンドでまとめてください。



警告

⑨鏡を使ったり、介添えの方をお願いして、下記のチェックをしてください。

- チェック1: お子様の頭で、装着者の視界が妨げられない
- チェック2: 気道確保*1の再確認
- チェック3: お子様の顔が装着者の胸に密着していない
- チェック4: 頭が左右に動かせない
- チェック5: お子様の手足が挟まれていない
- チェック6: 無理な体勢になっていない



※1 気道確保: お子様の口や鼻がふさがれていない、のどを押し付けていない等、呼吸をしやすくすることです。

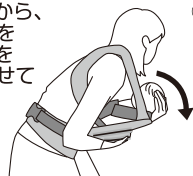
※お子様をおへそより上にすると、しっかりと楽にだっこできます。ご自身の最適位置を探ってください。

「だっこ」からのお子様のおろし方

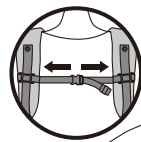
注意 お子様をおろすときは安全な場所を確保し、行ってください。

装着するときの逆の手順でおろしてください。

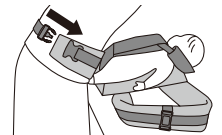
①抱っこひもの外側から、お子様の頭と背中を両手で支えて上体を下げお子様を寝かせてください。



②首の後ろでサポートバックルを外し、肩ベルトを外してください。



③腰ベルトの腰バックルを外してください。



首すわり(4ヶ月)～36ヶ月(体重15kg)までの「おんぶ」

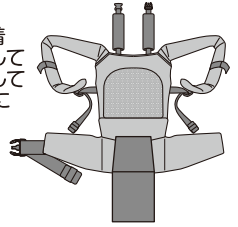
注意 おんぶするときには安全な場所を確保し、行ってください。

準備

①サポートベルトの上下位置を、ご自分の快適な位置に調節してください。通常はだこの位置より下側になります。サポートベルトの長さを調節してください。



②インサートパッドが装着されている場合は、外してください。内側を上にしてベッド等の安全な場所に広げ、全てのバックルを外しておいてください。



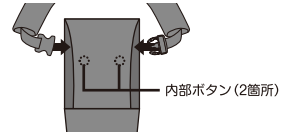
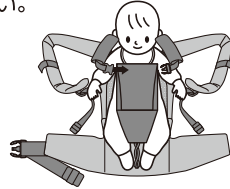
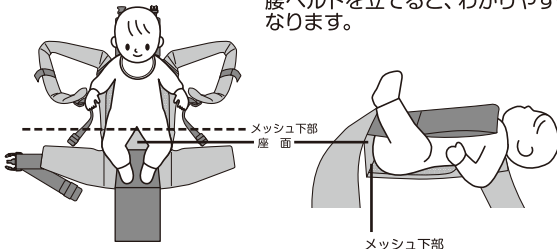
装着

①お子様の股をメッシュの下部に合わせて乗せてください。

②お子様の顔が抱っこひもの中に隠れてしまう場合は、クッションやタオルを巻いた物を座面に敷いて調節ください。座面がお子様のお尻に当たるように腰ベルトを立てると、わかりやすくなります。

③ベビーハーネスを装着してください。

※3ページ「ベビーハーネスの調節」「股あての調節」を参照。



※ベビー肩バックルが筒部の中にあるようにとめてください。

※股あて内部ボタン(2箇所)を外してから筒部の中でバックルをとめてください。

注意 バックルをとめる際、左右のバックルに股あての布等を挟まないようご注意ください。

注意

④一度手を添えて座らせて、下記のチェックをしてください。

- チェック1: 気道確保*** 股あてとの間隔がある
- チェック2: 胸にこぶし1個分の余裕あり**
- チェック3: バックルが股あての筒部に通され確実にとめられている**
- チェック4: お子様のお尻がクッションや巻いたタオルからズレていない**

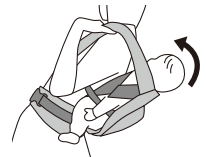
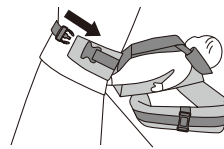
※1気道確保:

お子様の口や鼻がふさがれていない、のどを押し付けていない等、呼吸をしやすいことです。

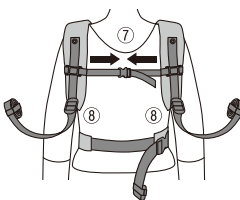


⑤お子様を寝かせ、腰ベルトを装着し、腰バックルを確実にとめてください。

⑥肩ベルトに腕を通して、肩に掛け、静かに起き上がってください。



⑦サポートバックルをとめてください。

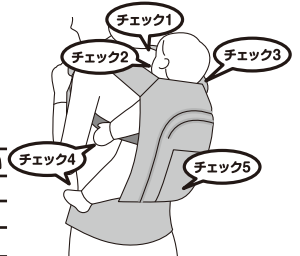


警告

⑨鏡を使ったり、介添えの方をお願いして、下記のチェックをしてください。

⑧肩ベルトを左右同じ長さに調節します。余ったベルトは伸縮バンドでまとめてください。

- チェック1: 気道確保***の再確認
- チェック2: お子様の顔が装着者の背中に密着していない**
- チェック3: 頭が左右に動かせる**
- チェック4: お子様の手足が挟まれていない**
- チェック5: 無理な体勢になっていない**



「おんぶ」からのお子様のおろし方

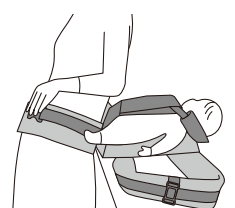
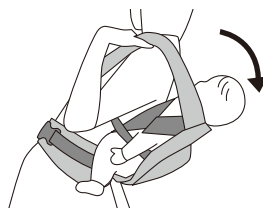
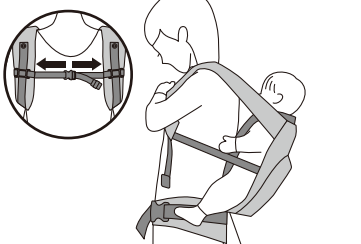
注意 お子様をおろすときは安全な場所を確保し、行ってください。おんぶではお子様が見えにくいので特にご注意ください。

装着するときの逆の手順でおろしてください。

①サポートバックルを外してください。

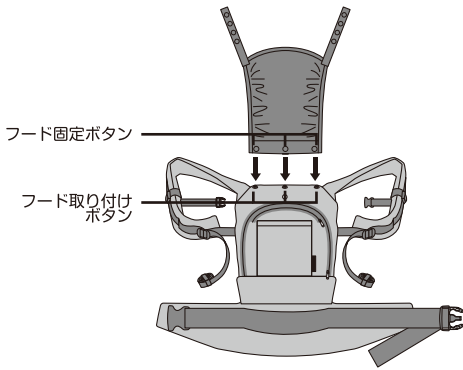
②お子様を寝かしながら肩ベルトを外してください。

③腰ベルトの腰バックルを外してください。

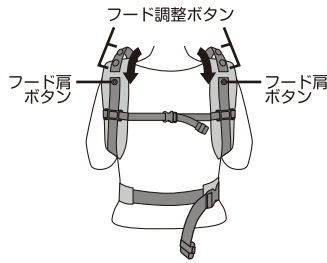


フードの使い方

①本体のフード取り付けボタン(3ヶ所)にフード固定ボタンをとめます。

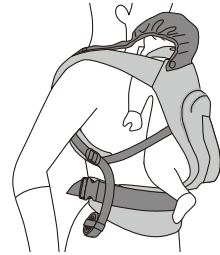


②本体のフード肩ボタン(左右)にフード調節ボタンをとめます。
※最適な位置のボタンをとめてください。



※着脱は無理に引っ張ったりせず、ボタンの近くを持ってボタンの垂直方向に着脱してください。

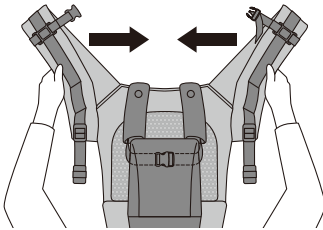
●お子様を日差しから守ったり、首カクンを防止します。
●使用しないときにはポケット等に収納したり、外して単独で洗えます。



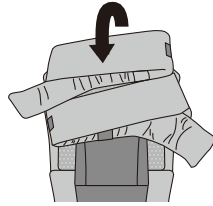
※別売りのオプションフードで各種の色柄をお楽しみいただけます。

まるめる収納

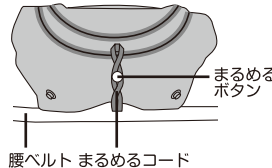
①腰ベルトを付けたままで肩ベルトを持ち、身体と平行にします。



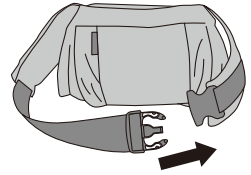
②手前にまるめてください。



③まるめるコードをまるめるボタンにかけます。
腰ベルトにまとめた状態の完成です。



④腰ベルトを外して、腰ベルトで巻くとさらに小さく収納できます。



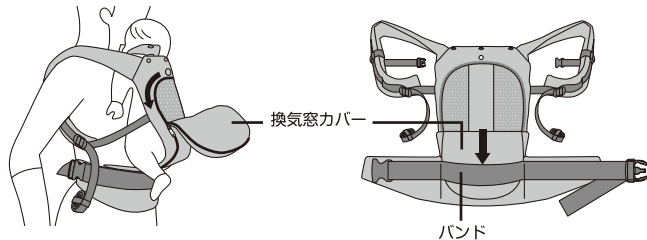
※1週間以上保管するときは、販売されていたときと同様にたたむかハンガーに掛け、肩ベルト等に負荷のかからない状態にしておいてください。変形することがあります。

換気窓の使い方

①換気窓ファスナーを開けてください。

②換気窓カバーを腰ベルト外側のバンドに挟んでください。

※換気窓を使用しているときには小物入れとポケットは使用できません。



お手入れ



30°Cを限度とし、洗濯機(非常に弱い洗濯)か、やさしく手洗いをしてください。



漂白しないでください。
タンブル乾燥機は使用しないでください。



遠心脱水の場合は短時間で実施し、形を整えて日陰の吊り干しをしてください。



アイロン掛けはできません。
ドライクリーニングはできません。



ウェットクリーニングができます。
(非常に弱い処理)

●色落ちする場合がありますので他のものとは別に洗ってください。

●洗濯ネットを使用し、すべてのバックル類をはめ、無蛍光洗剤を使用してください。

●洗濯すると縮むことがあります。

●軽い汚れは、湿った布でたたいて落としてください。

●生地表示等は、製品の洗濯表示ラベルを参照ください。